

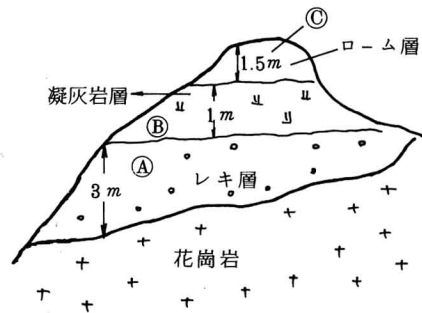
- ② 川原から向かい岸に進むにつれて、深さはどう変っているか。
- ③ 水中のぞき箱で、川底をのぞき、川底にそって、砂やゴミが流されている様子を観察する。

中 三 坂 小 学 校

1. 地層の観察

(1) 観察する場所

国道49号沿いのドライブインみはらしの崖
 学校周辺は阿武隈山系で花崗岩地帯であり、地層の観察に適する所は少ない。



(2) 崖から離れて、上部に見える地層全体を観察する。

- ① 地層の出ている崖の全体をスケッチする。
- ② 花崗岩の境や、地層の重なり方に注意して地層を書き入れる。
- ③ この小山は、花崗岩の上に、これらの地層がつもり重なってできていることを理解する。

(3) 地層に近づいて観察する。

④層は花崗岩の上につもったレキ層です。基盤になる花崗岩の表面は、浸食でこぼこしています。その上にレキ岩がつもったのです。

レキは緑色片岩で、5～50cmの大きさです。

⑤層は1mの厚さの凝灰岩層です。

⑥層は1.5mの厚さで淡黄色のローム層です。

2. 川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所